

『協働のまちづくり懇談会』 会議録

(H30.7.3 18:00 ～ 市役所中会議室)

出席者

・砂川市体育協会 7名

・市 善岡市長、熊崎総務部長、佐々木スポーツ振興課長、
安原市長公室課長、佐藤協働推進係長

1. 開 会

事務局 ～ 皆様、本日は大変お忙しい中、懇談会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、協働のまちづくり懇談会を開催いたします。はじめに、懇談会の開催にあたりまして、善岡市長よりご挨拶を申し上げます。

2. 挨 拶

市長 ～ いつも堅苦しくはやってないものですから、ざっくばらんに話しをしたいと思います。まず、今回お集まり頂いたのは、砂川市の医療費をどうやって下げようかと、これは国も含めて一番大きな問題で今医療費の社会保障費が非常に上がり過ぎていると、それをどうやって抑えるか、抑えることに成功することによって市民の負担なり市の経費なりまたは皆さん方の介護保険料や国民健康保険料が上がらないようになる、そういう仕組みになっております。私の頭では色々な施策を行いながら市の医療費を上げないような方策は取っていますが、なにせ市立病院があるものですから砂川の医療費はすごく高いです。ただ、収納率が全道2位ですとか特定検診が北海道の市の中で3位ということで頑張っているものですから、それと国からのお金が入ってうちの健康保険料は下から5番目に市の中では低いという現状になっています。それは色々努力したことによって健康保険料は低くなったし、介護保険料も特定検診、所謂40歳以上の検診を早めにやってそこで悪くなった人を早めに見つけて治療することによって重症化を防いできたということがありまして、介護保険料も市の中では下から3番目に低い。やはりそういう政策をやってきたことで効果が出てきたというのがあります。もう一つの方法は皆さんがスポーツをやることで健康を維持しているというのは現実にあります、その中で体育協会の方に集まっていたいてその中から何か色々な話の中から良い施策なり健康でいられる方策は無いかというのが、今日みなさんに集まっていた第一の理由で

ございます。スポーツフェスティバル等やっていただきながら、ある程度一斉にある期間にスポーツをするというようなことを砂川市は取り組んで、体育協会のみなさんにも取り組んでいただいておりますし、それを踏まえましてこういう風にしたらどうだろうか、などのざっくばらんな話を聞かせていただきながら政策に取り入れることができればそれだけみなさんが健康でいられると思います。健康でいられるということは介護の重症化になる人の数を減らすことが出来るそれが一番介護保険料を安くする秘訣です。悪い人がいっぱい増えていくと特別養護老人ホームをどんどん作っていかなければならない、いっぱい作ることによって皆が入って安心できるようになりますけど、介護保険料はすごく上がります。それを上げない方法を砂川市は早くから取り組んで、空知の中では75歳以上の率はすごく高いですけど、介護度が2～5の人は比率が極端に少ないと、それはやっぱりスポーツをやるとか、特定検診だとかで悪くなる人を早めに見つけて手当てをしてきたということの効果が7年くらいの間で数字で出てきました。空知の中で統計をとって見たのですが、砂川市がダントツで良くなっているというのは手を抜かずにやってきたというのがございます。それで今日はスポーツをやられているみなさんにいろんな話を聞かせてもらってスポーツの関係から何か良い方法を見つけることが出来るかもしれないとそんな思いで集まっていただきましたので堅苦しくなくいろんな意見を聞かせてもらって頂ければと思います。忙しい中集まっていただき大変ありがとうございます。

【職員自己紹介】

【体育協会自己紹介】

3. 懇談会

【本日の懇談内容等を説明】

【「市民との協働によるまちづくりをめざして」について概略説明】

市長　～　私のほうからきっかけとして聞きますけど体育館の料金についてどうでしょうか、安くすると人がいっぱい来るけど、いっぱい来ると中々使えない、高すぎると使えないなど色々な論議が過去にあって料金の体系は砂川市では光熱費の分だけは料金で賄いましょうというルールを作ったのだけど、それは当時の行革の中での考えで、その料金を例えば安くすることによ

てもうちよつと人が来るのか、今現状で満杯でこれ以上来たらやるとこなくなるよということになるのかそのあたり、体育館を使っている人の感覚としてどうなのでしょう。

会員 ～ 料金は関係ないかなと思います。

市長 ～ 一時、行革の最初の時に料金を上げた時には、「高い」という評判があつて何年か後に下げた経過があります。最近はいかに多くのひとに利用してもらって健康でいてもらうかというウエイトの方が高齢化と共に高まっています。ただ、安くしていっぱい来てしまうと、卓球でもなんでも場所が無いって話も色々聞いたりするものですから、体育館の中で実際に使っている人はどのように考えているのでしょうか。

会員 ～ 料金については過去、何回か市長が言われるように検討して、金額の変更を行っています。

市長 ～ 料金が高くて使われないと、収入が減るので料金を上げざるをえないシステムになっています。かといって、開館時間を延ばすのも簡単ではない。やはり使われやすい料金でバランスよく来てくれるような料金が一番良いスタイルだと思うのだけど、現状はどうなのでしょう。

会員 ～ 私は体育館を週2～3回使っています、今料金が近隣と並んで安くなっておりますから。それ以前は高かったのもあつて遊びに来てもらいたいと言っても来ない。あとは団体の専用使用ですね、中学校の大会とかありますけど、その料金も高かった。今は近隣と並ぶかもしくは安いぐらいの料金設定なので逆に有効に使ってもらえると思います。北空知のバドミントン協会でもそのように話していますし、遊びに来てもらうのも料金がすごく安くなりましたから。

市長 ～ 使いやすいスタイルにはなっています。

会員 ～ 水曜日なんかですとメインは夜で、卓球、バドミントン、テニポン、ミニバレーとほとんど7時から全面を使っているような感じで、上手く回っています。

市長 ～ フリーの人が来てやるような場所はないのですか？

- 会員 ～ みんなフリーですよ。フリーというかサークルというか例えば、テニポンだと最低4人必要ですからだいたいまとまったサークルの方達が来て曜日によって活動しています。僕は午前中にたまに行くことあるのですが、昔から見るとテニスと卓球は少なくなりました、前は台とかもすごくありましたけど今は少ないです。年配の方が来なくなったのでしょうかね。
- 市長 ～ 高齢化で。
- 会員 ～ 昔は夜も少年団とかで小学校で大人の人が指導して活気がありましたけど今はちょっと子供達もいなくなって寂しい感じです。
- 市長 ～ わかりました。料金的には問題はないですね。
- 会員 ～ 料金は使いやすい料金だと思います。
- 市長 ～ 今後、料金を下げたからたくさん来てくれるかというところ難しいところですね。
- 会員 ～ そうですね。
- 市長 ～ 使われてなんぼで色々な人に利用してもらうのが本来の目的です。ですから、使われる頻度が増すような料金体系が一番求められているだろうと感じていたものですからどうなのだろうと気にしていました。
- 会員 ～ 個人スポーツであれば個人個人の体育館の使用料でいいですけど、団体競技だとやっぱり大会ごとに団体使用の費用ということでどうかっていうのが関係してくるのかなと思いました。
- 市長 ～ 団体使用が他と比べて高いとか安いとかあるのでしょうかね。
- 事務局 ～ 今は安くなりました。一時だと団体使用は管内で一番高い価格設定でしたけど今は非常に使い易い設定にさせて頂いています。
- 市長 ～ 下げたのですね。料金のほうでは問題は無いのかな。

- 会員 ～ ちょっとよろしいですか？利用料金の関係に絡む分として団体使用の関係ですけど特に冬の間で定期を買って体育館のアリーナを使うのではなく、2階で歩いている人がいまして、これは団体使用になると専用使用になってしまって、一般の人が使えなくなるような仕組みになってしまっているのではないかなと思います。そうなる定期を買っているけど使えないでしょという声は若干ありました。特に冬の時期はそうやって使っている人もいます。アリーナを使うのではなくて歩くコースを使う。
- 市長 ～ その人たちはずっと歩くために定期を買っているのでしょうか。
- 会員 ～ そうですね。そういう事で利用している方もいます。そこで、団体使用が入り、今日は専用使用ですよになってしまう。
- 市長 ～ 定期を買っても使えない時期があるということですね。
- 会員 ～ 特に冬ですね、冬はそうやって利用する方もいる。
- 市長 ～ 外歩くよりは体育館歩きたいと。
- 会員 ～ ただ、絶対数が多いわけじゃないので、そういう風に利用している方もいるということを頭の隅に置いていただければなと思います。
- 市長 ～ 何か聞いたことありますね。団体使用は上の歩くスペースも使用禁止なのですね。
- 会員 ～ ええ、専用使用になってしまいますから。
- 事務局 ～ 上の方に応援する方だとか、荷物を置くなどで使うような形になるので歩く部分が使えなくなります。
- 市長 ～ そういうことは何回もあるのでしょうか？
- 事務局 ～ 数は多くはありません。
- 会員 ～ 団体使用となると土曜日曜が多いのでしょうかね、大会を開くだとかで。

- 会員 ～ テニスも冬は団体使用で大会が砂川と滝川共同で両方の体育館を使いながら全道大会をやったりしています。
- 市長 ～ 体育館の大きさはもうどうにもならないですけど、大きければいいってものですか？
- 会員 ～ 例えば、ソフトテニス連盟は砂川の他に滝川もあって、中空知ソフトテニス連盟というのがあります。そこは全道の大会を砂川と滝川の施設を両方使って大会をしています。男子であれば滝川行ったり、女子であれば砂川にいたりというような仕組みもやっておりますから、その点では、そのような使い方をすると団体の大会関係も可能なのかなと。北海道の中では場所的にここはいいところですよ、残念ながら高校以上の大会では担当の先生が変わったら全部札幌に行きましたけども。
- 市長 ～ そうなのですか？
- 会員 ～ ええ、もう何年も経ちますけども。
- 市長 ～ 体育館自体はいいですからね。皆さん方は自分の団体をそれぞれ持っていますけども会員を増やすような取組は何かされていますか？
- 会員 ～ 私はバレーボール協会ですけど、団体競技なのでチーム数が少なく、一般のチームはほとんどありません。だから中学校とか高校に頼るとというのが今まででした。それでも、ちょっと市民体育祭で枠を広げて男女混合チームにするとか、市内だけでなく近隣からも来てもらったりすると結構チームは集まるようにはなってきました。やはり、やり方だとか幅を広げたりだとかすると参加者が増えるということはありません。
- 市長 ～ そうなのですね、そういう人を増やすような方策をそれぞれ取り組んでいるのかなと思ってね、野球なんかはどうですか？
- 会員 ～ 野球も今野球人口が少なくなってきて、少年も3チーム大人も3チーム。ただ挨拶の時も言いましたけど還暦野球が今年立ち上がったみたいで、昔やっていた60歳以上の人たちが還暦でやっています。
- 市長 ～ 趣旨的にはいいですね。

- 会員 ～ そうですね。試合はやりますがまだ結成したばかりでボコボコにされます。ただ、普段から走ることや野球をやれば体力向上に繋がるので一人一人の健康にはいいのかなと。そして 40 歳以上のマスターズもあるので 40 歳以上の人たちも年を取ってから還暦野球に続いていけるのかなと思います。ただ、審判も今高齢化になってだんだん少なくなってきました。そこは、市役所・病院のチームに要請して審判やっていただいでなんとかやっています。
- 市長 ～ ボウリングはどうですか？
- 会員 ～ 立ち上げたときは 100 人登録していただきまして、次の年 80 人、今は 70 人を切るぐらいです。
- 市長 ～ 立ち上げは 100 人もいたのですね。
- 会員 ～ はい、1 年空ければ 50 人くらいになるのかなと思っていましたけど、2 年目 80 人、3 年目 70 人、最高齢で 85 歳くらいの方がいまして、80 代以上の方が 10 人くらいいるのかな、平均年齢が私くらいの年齢になっています。それでボウリングの方としては逆のパターンで高校生、中学生の子供達をなんとか増やしていきたいという気持ちがあります。一般的に見てもスポーツと思われないで娯楽としてみている人が多いのかなと思いますが、一時はオリンピックの種目候補にもなったというスポーツなので、その辺りも行政として教育委員会のほうと色々とお話していただきたいなと思います。子供の部分ですので親御さんの関係もあります。そのあたりも色々調整しまして、広げていきたいなと思っております。
- 市長 ～ でも 85 歳でも続いているのはたいしたものですね。
- 会員 ～ 私達よりも上手いです。(一同笑)
- 市長 ～ 昔活躍した人なのかな、ボウリングなんかはやりやすい感じしますけどね。
- 会員 ～ ただ、あくまでも民間の施設を使っているスポーツなのでその民間の料金等あります。高い安いはありますが、ボウリング場の会員になっていただければある程度の値段でできます、飛び込みはちょっとこんなに高い

のかと思いますけど年会費 5000 円でボウリング場の会員になれば大体 300～400 円くらいで 1 ゲームできるので、月何回か行く人であれば元取れますね。

市長 ～ そうですか、剣道はどうですか？

会員 ～ 年に 1 回市の広報で募集をかけて、あとは口コミとか兄弟関係とかそんな感じで子供を集めています。

市長 ～ なかなか苦労しているとか。

会員 ～ そうですね、最近子供がちょっとだけ増えましたが、またその年によっていっぱい入ってくるときと 0 のときとがあるのでこれから厳しくなるかなという感じです。

市長 ～ 防具にお金がかかりますよね。

会員 ～ 1 回買ってしまえば修理もききます。子供の場合は成長もあるので何回か買い替えなければならないけど、大人であれば高いもの買っても 10～20 年使えますね。

市長 ～ 剣道はね、私も大会に結構いくけど強い人もいますね。一般の人も気軽に参加できればいいですけども。

会員 ～ そうですね、一般の人がやるにはちょっと難しいスポーツですね。

市長 ～ パークゴルフのように気軽に参加はできないですよ。しかし、好きな人が気楽にできると参加者の中でも、色んな派閥というかグループができてしまっただけで纏まらないということもありますね。誰でもできるから健康管理には一番良いと思うのですけど。

会員 ～ 上手くなったら皆さん平日遠征しているみたいですね。

市長 ～ 難しいコースに行っただんどんやっていますね。健康管理でやっている人と上を目指してやっている人とがいたりして。でも一番人数増えて気楽にできるからパークゴルフはこれから主流になってくのでしょうか、誰でも

出来そうな感じで年齢問わずですから。バドミントンもやりやすいでしょうね。

会員 ～ そうですね。ただ、会員数は多くないです。どうしても高齢化になっていって若い人が入ってこないですね。何人かはいますけど高校は砂川高校でバドミントン部があって中学校は石中がもう活動をしている人がいない。砂中は男女 40 人くらい部活動でやっています。少年団は昔元々 2 つあったけど今は 1 つだけが活動しています。

市長 ～ 少なくなっているのですね。指導者がいなくなっていますよね。

会員 ～ そうですね、前は指導者がいて教えてくれましたが。

市長 ～ やっぱり指導者がいないとだめですかね？

会員 ～ ただ、バドミントンはハードなスポーツですけど、道のスポーツ協会ですと羽根突き程度というかコートに 3 人とか 4 人とか入ってトリプルだとかフォースとか、要するにあまり動かないでただ羽根を突くような生涯スポーツというものも 4～5 年前からやっています。ただ、さっきのパークゴルフと同じでそれはそれで強い人は強い人でそれが競技になってしまいますね。高齢者であれば 60 歳になっても 70 歳になってもコートに固定してあまり動かないで羽根を突くような生涯スポーツということをやっています。北空知で盛んなのは深川ですね、バドミントン人口はいるでしょうけど中々表に出てこない状況ですね。

市長 ～ ソフトテニスみんな昔からやった人たちがやっている感じですか？

会員 ～ そうですね。どちらかというと競技スポーツで、今年で 50 年目です。昔は軟式テニスって言いました。会員数は多くは無いけど最近 20 代 30 代の若手が結構やっているのありがたいなと、ただやっぱりどのスポーツも一緒だと思いますけどそれを支えている中学生高校生、やっぱり子供達が少ないということはそれぞれ部活もしなくなっているからそういう子供達がいなくてというのは寂しいなと思います。ただ、有難いことに砂川市で日の出コート、大体 20 年くらい経っていますけど立派なコート作っていただきましたから我々も市内の大会だとかで美唄とか滝川とか雨竜とか中学生が参加してくれている。そういった部分では他の町の中学生も来てく

れるのはたいへん有難いなと思っています。中学校とか高校とかの地域の予選大会を砂川のコートと当番校にしてやっています。ただそれによって専用使用になってしまうので個人で使いたいという人には迷惑をかけている分があるかもしれませんが。国体の少年の部も道予選をこのコートと滝川を使っています。要するにコート自体が本来であれば全道大会は16面が最低必要で今は8面です。私達はそれ以上くださいとは言いませんけど、維持管理も大変ですし、ただ足りない分のコートは滝川と上手く連携を取りながら大会をしています。

市長 ～ あそこのコートはすごくいいですよ。

会員 ～ 大変有難いです。ただ20年ぐらい経っていて人工芝ですので耐用年数は過ぎていくかなと。

市長 ～ もう20年経っているのですか。

会員 ～ 平成8年か9年くらいからですからね。

市長 ～ 最後はヨットですね。

会員 ～ ヨットカヌーの方ですけど、近年ここ10年くらい新人が育たないです。要するに我々が行って指導するといったら日中ですから日曜日限定になりますけど、まず公園に人が来なくなりました。緑と花の祭典とかで目ぼしい人を見つけてはこういう風にやっているから遊びにおいでとはPRはしていますけど。

市長 ～ なぜでしょうか。滝川とかは沢山人が来て使っていますけどね。

会員 ～ やはり学校単位で上手くやっていますね。

市長 ～ なるほど、学校単位でね。

会員 ～ 教員がその会員に入っているとか、そういうのがあればコンタクトできて小学生から育てるとか出来ます。私もBGの全道交流会に行きますけど小さなまちっというのは割りと人数を集めやすいです。一種の部活みたいな形で取り込めますよね。ただ、砂川市のような中途半端なところは難しい

ですね。

- 市長 ～ 滝川は全道1位ですよ、利用率がダントツで。
- 会員 ～ 料金取るのが良いのか、滝川市は取っていてうちはタダだけれども、さほど変わらないというか料金を取ったほうが人は来ていますね。
- 市長 ～ あれは専門の指導員を置いているからですね、体育協会に。
- 会員 ～ 協会に全部預けて、毎日平日でも4～5人のスタッフがいて大きな学校を受入れています。砂川だとせいぜい2人が限界ですね。
- 市長 ～ その差があるのですね。
- 会員 ～ そうだとも思います。砂川に来るのは小規模校、滝川に行くのは大規模校や中規模校を取れますから。
- 市長 ～ 滝川市は広いのでしょうか。
- 会員 ～ いや、広さは何も変わらないです、あくまで対応する人数だと思います。
- 市長 ～ うちの人足りないのかな、指導員というか。
- 会員 ～ やはり一回に乗る人数が多ければそれだけ対応する人も必要なのです。
- 市長 ～ 対応する人を増やせば、来る人も増えるってものなのではないでしょうか。
- 会員 ～ 団体の受入ができるってことですね。
- 市長 ～ 体育協会で行っているから良いでしょうね、うちはそこまで無理だけれども滝川は体育協会自体で職員を持っていますからね。
- 会員 ～ 滝川市は専用の2人が張り付いて、あとは何人かを雇って指導して一緒に指導できるような態勢にしています。
- 市長 ～ 一生懸命やっていますからね。

- 会員 ～ 全道のカヌー協会で理事をやっているような人がいますがそれが学校の教員で滝川にいます。そうすると全然違います。学校でクラブなんか作って自分で顧問やってあそこで練習しようという感じで。
- 市長 ～ そういう先生がいればいいんだ。
- 会員 ～ いればもう全然違いますよ。
- 市長 ～ 滝川市はなぜいるのでしょうかね。
- 会員 ～ やっぱり引っ張ってきたのではないですか？
- 市長 ～ 西高ですか？
- 会員 ～ 西高がずっと続いていますから。
- 市長 ～ 西高だったら市立ですから色々自由にやれますよね。道立だと難しいですけど、やはり何か差がつきますね。
- 会員 ～ 砂川市も使っているほうだと思いますけどね。
- 市長 ～ やっているほうだよね。遊水地だったらどうでしょうか。
- 会員 ～ まあ人はいないと思います。危なくてできないですよ。やはり一步間違えれば死に繋がるスポーツなので監視体制救助体制なんだかんだは必要ですね。目の届かないところに行ったらおしまいなので。また、全道的にヨットとかカヌーは縮小していますよ。
- 市長 ～ そうなのですか？
- 会員 ～ どこに行っても会員不足で、私たちは道東の協議会と付き合っていますけど、緑と花の祭典でも道東から6人、室蘭から4人手伝いに来てくれます。その分僕らも行かなきゃならないですけどね。やはりみなさん大きなことはタイアップしながらやっていますよ。

- 市長 ～ 専属でやるというのは現役で仕事をしている人もいるので難しいですね。スポーツで元気になるような良い方法を探し、なんとか高齢者とか巻き込みながら 40 歳以上の人の健康を保って、施設もそんなに使わなくても最期の最期にちょっと入るだけで済む。そのような生活を送ることができる人が増えると、介護にかかる費用だとか医療費にかかる費用だとかが減ります。特定検診で成人病の悪化を防ぐとか、介護教室をやったりしてそこで運動習慣を身につける。昔は寝たきりの人に手をかけにくかったからすぐに亡くなるひとも多かったが、今はそのような運動習慣もあって歩くようにしているから 100 歳以上生きる人もいます。だから施設に入るタイミングを遅らせる、少なくさせるようなことをすると介護にかかる費用も砂川市の分も少なくなるし皆さんが払う介護保険料も少なくなります。こういうことをやっていったら介護保険料これだけ抑えることができ、施設を作っても低く抑えることができるというのがある程度分かっています。ただ、医療費の方は難しいですね、重病の人が 3 人出ただけでも医療費は急に増えたりしますのでデータが取りづらいというのがあります。ただ、やはりスポーツをもっと広げていく方策を何か考えることによって、相対の市民にかかる医療費がある程度抑える方法がないかなというのが、今回の懇談のきっかけです。なかなか上手くいかないとは思いますが。
- 会員 ～ 体育館でも色々とスポーツ教室を開きますけど、特にお金のかからないウォーキングだとか歩くスキーだとかがなかなか集まらないですね。
- 市長 ～ ウォーキングはもうやる人はやっているからじゃないですかね。
- 会員 ～ やっているから、新たに教室に参加してまでもというスタイルなのかな。
- 会員 ～ 朝方オアシスパークで結構年配の方が歩いていますよ。個々として歩いています、それを纏めてどうこうっていうわけではなくて、恐らく 365 日歩いていると思います。ですから、2～3 日会わなかったら、「おばさん、会わなかったけど元気かい？」って話していますよ。
- 市長 ～ みんなそれぞれで一緒に歩くんでないけど顔は合わしているのですね。
- 会員 ～ オアシスパークの周回 5.6km を朝も 4 時とか 5 時には歩いていますね。結構年配の方もいます。

会員 ～ ただ、市長ね、申し訳ないけどもスポーツだけじゃダメだと思います。スポーツをしながら、食生活もキチンとしないと予防の部分としてはしなければならぬと思います。

市長 ～ 食生活改善協議会にはがんばってもらって町内会に入って色々指導してもらっているからそっちはそっちの方で任せて、あれは特定検診とか 40 歳以上対象の悪くなる人を防ぐためにやっていて重要な役割を担ってもらっていますね。

会員 ～ 予防の方ですね。

市長 ～ 予防ですね、悪くなることを防ぐこと、成人病の予備軍がいっぱいいるものですから、その人たちをなんとかする。だからあの人達の役割って大きくてそれは私も作った張本人だからなんとか頑張ってもらおうと影ながら応援していて、スポーツの役割も自然にやっていますけど、もっと盛り上げてく方法、例えば行政がもっと入ってきてこういうことやったらいいのではないかと、だからさっきのウォーキング教室だけでなく色々なものをやった方がいいですかね？

会員 ～ 色々な手段で取り組んではいますがね、なかなか参加者が乗ってこないですね。

市長 ～ 剣道教室やるって言っても来ないか。

会員 ～ 一般の人は来ないでしょうね。

市長 ～ じゃあ、そういうことをやってもダメなのですね。

会員 ～ ただ、保育所とかにうちの若い人が行ってやっていますけどね。

市長 ～ 剣道を教えるのでなくて、こういうのもありますよということですか？

会員 ～ そうです。たまに上砂川とかで。

市長 ～ 反応はあるのですか？

- 会員 ～ 上砂川で昔入ったというのがありますけど、なかなか食いついてはこないですね。
- 市長 ～ 保育所は早すぎるのではないですか。
- 会員 ～ 小さいうちから触れたほうがいいですからね。
- 市長 ～ 親が理解したらやんなさいで済みますけどね。
- 会員 ～ 小学生時代にもっと幅広くやってくればいいけど、もう野球、サッカー、バスケに行っちゃったらもう誰も残らないですね。
- 市長 ～ 今ね、砂川市の学校1クラスしかないので部活にも支障きたして、もう少しクラスないと何もできませんよ、面積が78.68km²ってすごく狭いまちなのに小学校が5つもあります、そしてみんな1クラスになっちゃって良いのか悪いのかわからないとこですね。今統合できないかって市民的に声を出して、そうしないと部活とか色々なことにも支障出てくるので、そのうち全部複式になりそうでこのまま置いとくと、一校でもいいぐらいの面積に小学校が5つある、近くにあるから恵まれていますけど、通うならバス5～6台買えばどこでも網羅できてしまうので、それは私が喋ると差し障りがあるので教育委員会の方で色々と考えて民主的な手続きで投げかけてそれをやるのだけ。これは学校の問題だから今の問題とは違うけども、もう少しクラスがあればね色々なスポーツができる、沢山あるからやる人もいろんな種類も出てくるだろうけど、1クラスじゃ難しいですね。
- 会員 ～ 1クラスといっても現状男女合わせて10数名でしょ、そうなる団体スポーツできないですよ。
- 市長 ～ これといういい方法は無いですね、大変な中でみなさんやっているわけですよ。
- 会員 ～ スポーツというと、レクリエーションという見方と身体を動かすという見方があると思います、競技になるっていうのと健康のためにというのであればどっちかという体育協会に加盟している団体は競技というのが元々メインでやっていて、じゃあ健康増進で身体を動かすためにやっているというちょっと体育協会ではない方がとつきやすいし参加しやすいと思

います。

- 市長 ～ 体育協会にはなじまないでしょうか、健康づくりをするとなったら、レクリエーションですかね。
- 会員 ～ 砂川で単独でレクリエーション協会はやってないですね、滝川とくつついちやっています。
- 市長 ～ 砂川市はレクリエーション協会っていうのができてないから滝川と一緒にやっていきますね。
- 会員 ～ 昨年中空知ウォーキング協会を作りました、それで滝川と砂川とか赤平、芦別で 30～40 人くらいですかね、それぞれ毎月例会を滝川でしたり砂川でしたりしながら、そうしていると札幌歩こう会とか旭川歩こう会とか大きなところがあるのでそこと連携とりながらやるようになりました。
- 市長 ～ ウォーキング協会ですか
- 会員 ～ はい、中空知ウォーキング協会です。砂川市で単発じゃなく中空知という広域にしながらやっているものがあって、9 月にも札幌歩こう会が来るって言うから一緒に例会しましょうという話もしていますから、単独が無理であれば広域の部分で中空知レクリエーション協会みたいのがあってもいいのかなと私は思います。
- 市長 ～ 体育協会の方でやるにはなかなか競技とか大会出ているとこばかりで難しいですね。レクリエーション協会の人たちと話しても参考になるかもしれないですね。
- 会員 ～ ただ、スポーツを通して我々は専門的にやっているものですから、怪我をしないような方法とかその辺はその種目ごとに知識を持ちながら長年やっています。身体を壊さないようにという部分はそれぞれ得意分野だとは思っています。
- 市長 ～ 今体育指導主事っていないですね。
- 事務局 ～ いまですね、30 年前はありましたけど。

- 市長 ～ あれは市が要望すれば来るのでしょうか？
- 事務局 ～ 社会教育主事と同じような位置づけですね。
- 市長 ～ 昔は社会教育主事もいて体育指導主事もいてスポーツの指導に来て、熱心な人でいい人来て指導していましたが、今でも可能なのでしょうか？
- 事務局 ～ あまり各自治体では体育主事を置いているということや教育の方から来ていただいているというのは最近聞かないですね。
- 市長 ～ でも、素人を置くより体育指導主事居たほうが色んなこと教えられるよね。
- 事務局 ～ 当然それは専門家ですので、スポーツ系の社会教育主事みたいな形でスポーツを教えてもらえますね。
- 市長 ～ そしたら色々なこと企画して専門官だからやるのでしょうかね。
- 事務局 ～ だと思います。
- 市長 ～ そっちの方がいいのかもしれないですね。
- 会員 ～ 結構学校の方に食いつきやすいですからね。同じ役場ということで。
- 市長 ～ 同じ学校の先生が指導主事で来ていたらそうですね。
- 会員 ～ 指導主事で各学校にコンタクト取りやすいと思います。
- 市長 ～ それがある程度浸透してひとつの手法となるかもしれないですね。
- 会員 ～ 結構団体とコンタクト取ってやってもらいましたね。
- 会員 ～ いれば便利ですね。
- 市長 ～ 専門官ですから、考えてみる価値はありますね。人件費はかかるけども。スポーツ振興ですから。スポーツ振興課の方で何か考えてみて、今どうな

っているか。

会員 ～ 様似町がテニポン発祥で、砂川に引っ張ってきてテニポンやっていて、テニポン協会あるけどもその下部にサークルが存在してやっている分があるので表に出ないですけど、総合体育館とか海洋センターでやっています。テニポンだけでなくバウンドテニスというバドミントンのコート使ってやわらかいボールでやるテニスもやっていて、我々体育協会としては把握しきれないです。若しくは体育協会に入っていないスポーツをやっていますね。

市長 ～ テニポンは入っていないのですか？

会員 ～ 体育協会には入っていません。あそこはテニポン協会の下部にサークルとかグループがあるから、結構それぞれで練習日がバラバラだったりします。

市長 ～ それは体育館使っているのですね。

会員 ～ そうですね、総合体育館使ったり海洋センターを使ったりですね。そういうスポーツ、レクリエーション＋スポーツみたいな種目もあるのだなとは感じますね。

市長 ～ やはり、体育指導主事がいればお金はかかってもある程度そういうのを考えて色々やってくれますよね。今体育指導主事は市町村で使わなくなったのですか？

事務局 ～ どうなのでしょう、一時体育館とか出来た時はそういう形で置きましょうと砂川市では置きましたけども。

市長 ～ 機能していましたがね、あれは体育大学とか出た先生ですかね？

事務局 ～ その方が多かったと思います。

会員 ～ 前の先生は岩見沢教育大学出身でした。今は美唄の教育委員長を降りています。

市長 ～ 元々は根室管内のほうに採用でいって、あのままだと根室管内から出られ

ないから、方法としては体育指導主事として空知に呼んでもらうしかない
と、それで呼んでもらって来たど、そしたら空知でずっと居られるから
て。黙っていたら一生根室管内の学校を周って終わるものですからと、そ
こからなんとか出てくる方法として空知のどっかに呼んでもらうしかない
と本人は言っていましたね。でもすごく熱心な先生でしたね。3人ぐらい
いましたよね？

会員 ～ 4人ぐらいいたはずですよ。

市長 ～ 色々話を聞きに言った記憶があるのですよね。

会員 ～ その当時は体育指導主事がいて、各スポーツ指導委員というのがいました。
各スポーツの代表が、バレーから誰とか卓球から誰とか。

市長 ～ ありましたね。

会員 ～ そういので大きく動いていた時代はありました。今は推進員になってい
るかな。

市長 ～ 指導員ってありましたね、あれはお金も出ていました。

会員 ～ 報償費が一回2000円でしたね。

会員 ～ 何かの行事の時に参加したら出たはずですよ。

市長 ～ そうですね、何か記憶ありますねお金を出して。あれはだんだん機能し
なくなったのかな？

事務局 ～ 今も推進員でスポーツ事業には一緒にやっていますね。

市長 ～ 指導員とは何が違うの？

事務局 ～ スポーツ基本法で推進員を置きましょうとなっているものですから。

市長 ～ 推進員に名前が変わっただけか、中身は変わっていないのですよ。

- 事務局 ～ 変わっていません。当初の指導員の報酬とは若干金額的には安くなっていると思いますけど。
- 市長 ～ そうだよな、それで指導員も力入らなくなったのかな。金だけじゃないけども金も大事ですから。
- 会員 ～ テニポン普及させた人も推進員でしたよね。
- 市長 ～ 当時すごく熱心だった人がいましたね。
- 会員 ～ 新しい、所謂ニュースポーツでして、パークゴルフもゲートボールもニュースポーツですよ、ミニバレーとか。
- 市長 ～ ミニバレーボールも当時先生方が指導し始めたで、こんなのあるよって。そこから広まっていききましたね。
- 会員 ～ 本バレーをやるのがきつくなかった人達がね、40世代の人たちがね(一同笑)
- 会員 ～ 生涯スポーツじゃないですかねミニバレーは、体育協会はどちらかという競技で市長がお話したように健康増進とか医療費削減とかに目を向けた時に高齢者が体育協会の競技でそれなりに体力を作っていますけど。今言ったようにスポーツ推進員が毎年周ってニュースポーツなんかもしていますので、スポンジテニスとか高齢者の方がやっていて、バドミントンコートで低いネットでテニポンよりあまり動かないのでできるというやつをやっています。
- 市長 ～ それはスポーツ指導員がですか？
- 会員 ～ スポーツ推進員が行っていますね。
- 市長 ～ 今でも？
- 会員 ～ 今でも毎年あると思うのですが、例えば奈井江で開催するニュースポーツを取り入れてみようと。
- 市長 ～ そういうことやっているのですね毎年。

- 会員 ～ 毎年やっているはずですね細々と。
- 市長 ～ 細々とじゃだめですよ。でも力をいれるのはどっちかというそっちの方ですかね。
- 会員 ～ ヒットするのが少ないです、件数は沢山ありますけど。
- 市長 ～ でもそれは生涯スポーツとして健康管理には繋がるような感じですね。
- 会員 ～ 一時ミニバレーなんかはものすごく普及して PTA とかもやっていましたね。
- 会員 ～ 最初は生涯スポーツだったのが長くやっているとやっぱり大会があるから勝とうと思ってやる人と楽しくやろうって人がなんとなく別れてくる。勝負に拘る生涯スポーツになってしまいますね。(一同笑)
- 市長 ～ 大会あるとそうになってしまいますよね。スポーツ推進員か、ちょっと考え直そう。かえってそっちの方かもしれないですね。
- 会員 ～ それと高齢者の健康増進で言いますと、滝川にあるサンテという施設であれば体力を作るジムの的なものがあったり、そういうところにスポーツをせず体力をつけたりというのがあります。
- 市長 ～ 民間の 100km ウォークのときに来てくれるやつか。
- 会員 ～ 結構砂川から行っている方も居ますよ、役所の OB ですか。
- 会員 ～ 講習会の時にサンテだったかな、総合体育館で当時推進委員の会議があってその時にあれは違ったかな？
- 市長 ～ スポーツ推進員の話聞いた方が良いかな次は、やっぱり競技をやっているところとは違いますかね。それはそれで効果があって良いとは思いますが。大会を目指していますし剣道もそうですよね。勝たなきゃダメですよ。
- 会員 ～ そうですね。

- 市長 ～ 野球は勝つというのではないの？
- 会員 ～ 今は男の子が足りなくて女の子も中学校とかで野球やっていますからね。それでやっと人数が揃うので野球も人口が少なくなってきましたね。今はかえって還暦とか私達の時代の方が野球好きですからみんなそっちに行きますね。
- 市長 ～ 還暦の野球大会ですか？昔やった人たちがもう一回やろうと。
- 会員 ～ そうですね
- 市長 ～ 一番理にかなっていて良いですよ、怪我さえしなければ。
- 会員 ～ すごいチーム数はありますね、10とか20じゃないです。
- 会員 ～ この辺ですと滝川とか深川とかですからすぐ全道大会ですね。
- 市長 ～ 弓道は学校で結構やっているけど、剣道はやってないですか？
- 会員 ～ 今は高校でもそんなに部員が多くなって。
- 市長 ～ 弓道に流れていますよね、今年1年生10人以上入ったみたいですし、指導者がいいからですかね。
- 会員 ～ 剣道は指導者いないです、小学校も中学校も高校も。
- 市長 ～ いないのですね、高校には弓道の女の先生いますからね。そしたら1年生沢山入っていてびっくりした。やはり指導者か。
- 会員 ～ 関連種目の指導者が学校にいるというのは大きいですね。
- 市長 ～ 指導者がいないとだめか。
- 会員 ～ 指導者がいても団体戦を組める人数がいないとだめですよ。

市長 ～ バレーボールもそうですね、砂川高校の。いつもスイートロード杯やるから中学校やっていた人を探して無理やりやらせて、先生も苦勞していましたね。

会員 ～ やはり、3年生が高体連終わって抜けたらチームがギリギリとかちょっと欠けるとか新しく1年生を期待しなければならないとかがありますね。

市長 ～ 中学校時代やっていた人探して一応主催だからね、スイートロード杯は評判良くてみんな出たがる大会ですけどね。トップクラスは来ないけど。お菓子沢山もらえるから出席希望は多いけどチーム数が限られているから1日で終わらせられるので色々なところに広がっているみたいですよ。わかりました、特段この機会に言いたいことがあればどんどんお願いします。

会員 ～ ひとついいですか？総合体育館と海洋センターって施設的には規模も違うし設備も違いますけどそれぞれ利用料が別々で、これは例えば共通利用券みたいなものってできないだろうかという話をする人はいます。定期一つあれば両方使えるようなものがあればよいと思います。

市長 ～ 利用料金が別々か。

会員 ～ 定期で両方なんとか使えないだろうかという話をされる方はいます。

市長 ～ でもそれは料金が同じでなければできないですね。

会員 ～ ですから別々なのですよ、総合体育館も海洋センターも、回数券もバラバラでありますけど、共通利用券みたいなものはできないだろうか、ただ規模が違うから簡単にできないのかなとは思いますが。

市長 ～ ものの考え方ですね、規模が大きいから高いとかそんなものでもないから、新たな理論が作れるかどうかですね。要するにみんなが良いと言ったら理屈はあんまりいらないのでないかという感じになってきていますから、行革でやった時は何か行政で一つの理由を作らないと議会で言われるしということでルールを作りましたが、今はなんせ健康管理を考えるのでしたらいかにみんなが使いやすいようにしようとか、ゆうだったら役所でやってないから自由にやっていますね、暖房を焚こうが料金は年間統一だとかって、役所だったら冬は暖房焚くと冬だけ高くするとかだったら使いづ

らいとかって言われているから、やっぱり均等になるのが今の時代で、役所的な発想で管理してくのはもう難しい時代になってきていますね。だからどんどん変えていくことが可能かどうかって検討します。

会員 ～ それぞれみんな上手く住み分けしているなというのが、その種目を海洋センターでする人は海洋センターですよ、同じ種目でも総合体育館は総合体育館で、卓球とかも住み分けされていますよ、海洋センターでやるひとはずっと海洋センターで。

市長 ～ グループができていますね、でも卓球やるならどっちでやっても同じですよね。

会員 ～ 台と玉とラケットあればいいですからね。

市長 ～ 単純に言えば料金違うのもおかしいですけど、体育館の方が明るくて良いですかね。

会員 ～ 明るさの話をされるともう出来上がってしまっていますけども、球技する側にとってはある方に言われたのが、LED にしましたけど、決して悪いってことじゃなくて、球技とかをすると同じ色合いじゃなくて白色とオレンジと混ぜたほうが遠近感を掴みやすいとおっしゃっていました。出来上がってから言われたことですけども。

市長 ～ 出来上がってからですか。

会員 ～ ええ、というのは、過去の総合体育館も白色の部分とオレンジって必ず入れている。

市長 ～ そうなのですか、知らなかった。

会員 ～ それって、球技だとかって色合いだとかで遠近感が違うって聞いたので。

市長 ～ 昔の体育館からそうだったっていうのは理由があるでしょうね。

事務局 ～ 空知太のそらっぷセンターなんかもそうですよね、2色ですね。うちの総合体育館は1色だったはずですよ。

市長 ～ 前も？

事務局 ～ 前も1色だったと思います。

会員 ～ 1色だったかな？海洋センターは1色でしたね。

事務局 ～ 1色ですね、古くなって色がこそげた感はあるかもしれないですね。

市長 ～ LEDって1色しかないのか。

事務局 ～ 他の色もありますけど、あのサイズになるとまだ出てないかもしれないですね。

会員 ～ スポーツを専門にしている人が出来上がったときにちらっとこうしてくれたらよかったと言っていましたね。

市長 ～ 入れ替えるときに変えればいいだけですね、値段自体は大きなものでもないと思いますけど。

会員 ～ そんなことがぼろっとでたこともありましたと。

市長 ～ 利用料金のやつは考えてみます、共通にしてね。何か問題起きるかな、あの理論ももうやめようかなと思っているので、維持管理経費を跳ね返すっていうのは理論上ね、単価上げたら人減ってまた上げてくってパターンなので、だからどっかで一番良いラインってあるはずですよ、高すぎず安すぎず一番人が来るところが一番良いラインが、だから過去に上げすぎて人いなくなって慌てて下げました。作ったときは理論が合っている人も人が変わってくと引き継がれないからあまり良い手法じゃなかったのではないかなって。前は嘘みたいな資料いっぱい持ってきて料金決めるのに苦労したから、今はもうみんな使えるところである程度納得できる値段でいいじゃないかという感じですよ。

会員 ～ 一部の声かもしれないので、意向調査じゃないけど、共通利用券になった場合使いますかというのをやって状況くらいは把握した方がいいとは思いますがね。

市長 ～ ちょっと色々考えて、卓球やるにしてもやればどっちでやっても同じようなものだろうけど、体育館の方が明るいですかね？綺麗だし。

会員 ～ 海洋センターも綺麗にしましたよ、照明も床も。

市長 ～ わかりました。そういうわけで何か他にございますか？

全員 ～ ありません。

市長 ～ よろしいでしょうか、剣道も特殊すぎて人集めるのに苦労しているくらいしか聞けなかったですけども、体育指導主事が来てくれればやってくれるかもしれないですね。専門に学校を周って歩いて。そうでないと衰退の危機になってきますし。

それでは、ちょっと雑談みたいになってしまいましたけども、参考になることもいっぱいありましたし、言われたことについては検討します。もう少し色々なレクリエーションの方にも体育推進員とも話を聞いて、みんながスポーツに関心を持てるやり方を考えていって、それをやることによって、医療費が下がっていくというのが一番良い方法です。私はこんな人間ですから、医療費の削減が初めになってしまいました。順番的にはスポーツをすることで医療費が下がっていくのが本来のあり方だと思いますけど、分かりやすくするために先に医療費を言っておいて、下げるために今色々やっていますと言ったほうが、話がしやすいものですからそうやってしまいました。今回色々大変な状況にあるというのは解りましたし私自身も競技だったら大会もあるし、そっちを目指しているので趣旨が違うということも理解します。推進員だとか体育指導主事について検討しながら一番機能して、やっていける方法というのを、検討してみたいと思っております。本日はありがとうございました。

事務局 ～ 本日はお忙しい中大変ありがとうございました。以上をもちまして協働のまちづくり懇談会を終わらせて頂きます。大変ありがとうございました。

終了 (19:20)